

平成28年度 学校だより

京都市立大枝中学校

# 6月 大枝中学校通信

平成28年6月1日

## 春季総合体育大会の結果

先の春季総合体育大会では、右の表にあるようにどの運動部も健闘し、素晴らしい成績を残してくれました。試合である以上勝ち負けはもちろん大事ですが、以下の言葉を大枝生諸君に送りました。

「一生懸命やって勝つことの

次にいいのは

一生懸命やって負けること」

(ルーシー・モード・モンゴメリ)

次は夏の大会に向け、日々精進を重ねて欲しいと願っています。また今大会では、たくさんの保護者の皆様にご観戦いただき、ご声援を送っていただきました。心より感謝申し上げます。

## 平成28年度 春季総合体育大会 部活動等 表彰・顕彰

部活名	最終結果
野球	1回戦 対 花山2-1
サッカー	<b>ベスト8</b> 2回戦 対 京都御池4-0 3回戦 対 蜂ヶ岡 1-0 4回戦 対 椋原4-0 準々決勝 対 修学院1-5
男子バレーボール	1回戦 対 嵯峨0-2 2回戦 対 藤森2-0
女子バレーボール	1回戦 対 太秦2-0
男子バスケットボール	<b>第3位</b> 2回戦 対 旭丘43-58 3回戦 対 西京極39-42 準々決勝 対 神川40-42 準決勝 対 加茂川47-3
女子バスケットボール	<b>ベスト8</b>
陸上	個人三段跳 12m00 2位 個人200m 26秒58 3位 個人800m 2分21秒79 4位 個人走高跳 1m60 5位 個人三段跳 11m36 6位 個人100mH 16秒78 7位
女子ソフトテニス	団体 対 桃山4-0
剣道	団体女子 <b>ベスト8</b> 個人男子1・2年の部 個人 <b>ベスト8</b>

## 避難訓練を実施しました

先の5月2日(月)4限目に、火災を想定しての避難訓練を実施しました。

すべての生徒諸君が避難を完了するに要した時間は役5分でした。次回はもう少し改善したいと思います

こうした訓練を積み重ねることで、いざという時に命を守ることができます。そのためにも「自ら判断し、自ら行動できる」避難訓練を実施しなければなりません。さらに工夫していきたいと思ひます。

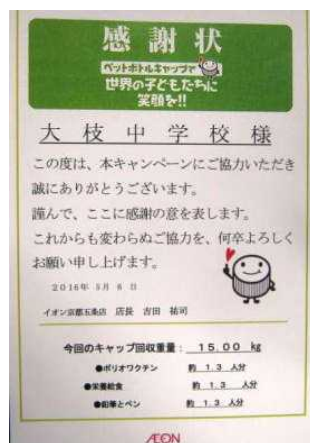
またこの場をお借りして、九州・熊本地方を中心とした震災で被災されました皆様に、心からお見舞いを申し上げます。本校生徒会が、何らかの支援に向けての取り組みを検討しています。その際には、皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



## 表彰していただきました

右にありますように、本校の生徒会が中心となり全校で取り組んできたエコ活動の一環、「ペットボトルキャップの回収」に対して「感謝状」をいただきました。

たとえ小さなことでも少しずつ積み重ねていけば、こうして一つの「形」になります。このことは、学習面や部活動についても同じことが言えるのではないのでしょうか。大枝生として「つながり」を大切に、家庭や地域の一員として「自他共生」の大枝三訓を実践していったと欲しいと願っております。



そのことは、左の写真にある 5 月 15 日 (日) 実施「桂坂学区統一クリーンディ」への参加 (生徒会本部の声かけで、陸上部や女子バレーボール部の皆さん、有志約 60 名) であったり、下の写真における 5 月 18 日 (水) に本校でおこなった「大枝中学校クリーンディ」での取り組みへとつながっていきます。

さらに、18 日 (水) から 24 日 (火) までの一週間、左の写真にあるように生活委員会が中心となって、「朝の挨拶をしっかりとしよう & ベル着を守ろう週間」に取り組みました。



こうした地道な活動を積み重ね、生徒自らが考え、行動できる学校づくりを進めていくことが大切だと考えます。確かに「即効性」はないかもしれませんが、「すぐ役に立つことは、すぐ役に立たなくなる」との言葉もあります。本当の意味で、子どもたちの「身につく」実践を、これからも教職員一同で頑張っていきます。



## information

### 大枝中学校ゆるキャラ「柿原呂くん」



学校の様子や行事予定などを、本校ホームページにてお知らせしております。今年度は、できる限りタイムリーに、そして頻繁に更新できるよう努力したいと考えておりますので、是非ご覧いただきますようお願いいたします。

※本校ホームページのURL (ウェブサイトのアドレス) は

<http://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=205801>

です。

携帯サイト



なお、携帯サイトからも本校ホームページを閲覧していただくことができます。左記のQRコードをご利用ください。

※QRコード(R)は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!

